

南太平洋で唯一独立を保ち続けた トンガ王国を訪ねて

大道裕之

今回の旅は、元日本人女性（トンガ人と結婚、現在は亡くなられた）が経営していた宿に2泊した関係で、トンガで働く日本人5名ともお話しする機会がありました。JICAの協力隊の方3名に「観光で来ました」とご挨拶したら「珍しい?!」と驚かれました。



協力隊員さんはそろばんの先生。トンガ国王は日本のそろばんがお気に入り。小学校の必須科目にしてしまいました。この子達もそろばんが好きだそうです。

右の写真はヌクアロファにあるトンガ王の「王宮」です。議会開催等、公式行事の際だけこの王宮においてになり、普段は、私がビーチサイドで滞在した宿の近くにお住まいになられています。



ヌクアロファでお世話になった宿 Nerima Lodge です。日本っぽい名前ですが、トンガ人と結婚した日本人女性が建てたB&Bです。朝食のコーヒーはトンガコーヒー。探せばもっと安いB&Bはあるようですが、ホットシャワーもあり快適なので人気の宿です。



残念なことに経営者の又平直子さんは数年前にがんで亡くなられ、ご主人も既に他界されていたので、その後はトンガ在住NZ人ポールさんが経営されています。建物の中は靴を脱ぐ日本スタイルでくつろげます。2人のトンガ人ご婦人が交代で朝

食作り・清掃をしており快適でした。

7室あり、仕事で長期滞在の人が多かったです。



写真はトンガ全土で20,500軒のユーザーに電気を供給しているトンガ電力公社です。2008年に今の形態となり、国が100%出資してい

るそうです。人口の7割が住むトンガタブ島には11,200kWの内燃力発電所、1,000kWの太陽光・風力発電所があるそうです。他離島に内燃力が併せて3,000kW程度。

島の市場、タラマフマーケットに行きました。

主食のタロイモ・キャッサバ・果物・野菜に民芸品そして2階は衣服が売られていました。

緑黄野菜は食べないらしく（中国人向けのようです）あまり見かけません。カボチャも全量日本に輸出されるようでトンガ人は全く食べないそうです。



魚市場は港に近い別の所にあります。昔、行ったサモアの市場と似ていると感じました。やはり同じ文化圏なのでしょう。

トンガ製品を購入しようという看板を見ましたが、小さな島嶼国だけに果物は別として、トンガ産製品だけで生活しようとするほうが難しいと思います。

小麦・米も輸入、コココーラはフィジーから輸入

でした。ミネラルウォーターはトンガ産もありました。

市場やスーパーで売っている肉（裏庭で飼っている豚など以外）は、全てニュージーランドからの輸入でした。

